

一般質問通告一覧表

令和5年12月22日（金）

	氏名	通告時間	件名（要旨）	答弁者	予定時刻
1	松岡秀樹	40分	市政運営について 市長は「市民のいのちと生活を守る」を基本理念とし、本市最大の課題である人口減少と加速する少子・高齢化に立ち向かうことを訴え、2期目の市政を担うこととなった。 選挙を経て、所信表明で掲げられた重点施策「5つの挑戦」にかかる市長の思いを尋ねる。	市長	10:00
2	林 哲也	70分	2期目の市政運営について ①11月19日投開票で長門市長選挙が行われたが、何を争点に選挙に臨み、選挙結果をどう受け止めているのか。また、1期目の評価と課題を踏まえ、2期目の市政運営に対する基本的な姿勢を問う。 ②市長は本定例会初日の所信表明において、選挙戦で示した「切れ目のない一貫した子育て支援」など、「5つの挑戦」に沿った重点施策について述べている。次年度の予算編成にあたり、新たにどういった施策を予算に反映させる考えなのか。	市長	10:50
3	西村良一	30分	本市の農業振興について 本市において、農業は主要産業のひとつであり、同じく主要産業である観光業等を下支えするという意味でも重要な経済活動であるが、人口減少、少子・高齢化が進行している状況にあつて、後継者不在や人手不足が深刻な課題となっている。こうした課題解決に向け、市長は所信表明においても「従事者の高齢化が顕著となっている第一次産業を、本市の地域資源を最大限活かすなど、若者が魅力を感じ、参入したくなる産業にしていくことで、担い手の確保等に資する好循環な環境を構築し、持続可能な産業として発展させる」との目標を示しているが、本市農業を持続可能な産業とするため、特に担い手不足の解消、農作業の効率化・省力化の観点から、どういった取組を進めていくのか、市長の見解を問う。	市長 部課長	13:00
4	ひさなが信也	45分	子育て支援施策実現に向けた見通しについて 市長と協働のまちづくりミーティングでは子育て世代から多種多様な要望や意見が上がっている。市長は、所信表明で「切れ目のない一貫した子育て支援」を重点施策として掲げているが、その具体的な施策を選んだ理由及び考え方を尋ねる。	市長 部課長	13:40
			「オール長門」に込められた真意について 市長は、これからの市政運営について「オール長門」で取り組んでいくことが必要と所信表明のむすびで述べられたが、「オール長門」ということばに込められた思いについて尋ねる。	市長	
5	米弥又由	30分	持続可能な地域公共交通ネットワークの構築について 市長は、所信表明における重点施策の1つとして「誰もが「健幸」で安心して暮らせるまちづくり」を掲げられ、これまで取り組んできた「公共交通対策」についてもさらに発展させ、デマンド交通の利便性向上により、市民が安心して暮らせる生活基盤を充実させるとしているが、具体的にどのような内容を考えているのか尋ねる。	市長 部課長	14:35
6	有田 茂	30分	我がまちのこれからの農業振興について 農林水産業を取り巻く環境は高齢化の進展及び後継者不足による生産者数の減少、耕作放棄による未利用地の増加と荒廃が進んでいる。また、ここ近年肥料や燃油価格、電気代等の高騰により農業所得が減少し、経営が非常に困難になっている。これからの農業の維持・振興を図るために、市としてどのような対策を考えているのか尋ねる。	市長 部課長	15:15

令和5年12月25日（月）

	氏名	通告時間	件名（要旨）	答弁者	予定時刻
7	綾城美佳	70分	市政運営について 市長は「人口減少に立ち向かい、市民のいのちと生活を守る」ことを訴え、2期目の再選を果たされた。今回の選挙戦や選挙結果をどのように評価し、今後の市政運営に努めていくのか。 また、所信表明で今回の選挙公約を「5つの挑戦」として重点施策に位置付けるとの考えを示されたが、実現には多額の財源が必要になると考える。今後どのような市政運営をしていくのか。さらに、事業のスクラップ・アンド・ビルドを徹底するとしているが、具体的にどの事業をスクラップの対象と考えているのか、市長の考えを伺う。	市長	9:30
8	重村法弘	50分	市政運営について 新たに4年間市政を預かるトップとして5つの重点施策を掲げられ「市民のいのちと生活を守る」を基本理念とし、これまで以上に市民に寄り添うと、所信表明された。 本市では危機的な人口減少や少子化等、様々な課題が突きつけられているが、特に人口流出による世帯数の減少及び若者不在といった山間部集落では生活環境の悪化も懸念される。今回の選挙戦を通じ山間部で暮らす市民の生活が市長にはどのように映っているのか、またどう寄り添い守っていくのか、その覚悟と見解を尋ねる。 (1) 山間部の市道・橋梁等の保守、維持管理について (2) 遠隔地に在住する市民への交通支援について (3) 生きていくために必要となる上下水道の確保及び公共との格差是正について	市長	10:50
9	岩藤睦子	30分	組織の改編について 生涯学習・文化財課が所管している一部の事務が新たに設置予定であるスポーツ文化交流課に移管されるが、長門市文化振興財団との今後の関係性はどうなのか、また、部活動地域移行準備室を設置する効果について市の考えを問う。	市長 教育長 部課長	13:00
10	田村大治郎	60分	地域公共交通対策の今後について 総務産業委員会では本年10月に広島県神石高原町で「生活交通対策」について行政視察を行った。児童生徒および高齢者をはじめとする交通弱者の移動手段の確保と民間事業者の維持存続に加えて、公的負担の割合等本市の公共交通の課題と今後の見通しについて尋ねる。	市長 部課長	13:40
			人口減少対策について 市長は本定例会本会議初日の所信表明において、健康、医療、福祉や教育など幅広い分野で、安心して子どもを産み育てることができる環境や支援体制の充実こそが、若者の定着と回帰に向けた必要不可欠で最も重要な取組と述べられている。環境整備および支援の内容について尋ねる。	市長 部課長	
11	早川文乃	30分	中学校部活動の地域移行について 令和7年度からの地域移行に向け、保護者への説明資料配布やアンケート等が行われている。市長の所信表明でも、「子どもたちの健やかな成長を図り、スポーツ・文化活動に持続的に親しめる環境づくりに取り組むことで、将来の長門市を担う人材を育成していく」と述べられている。 本年9月定例会一般質問後の進捗状況及び移行の影響がある児童や保護者への配慮について問う。	市長 教育長 部課長	14:50
12	吉津弘之	40分	子育て支援について 全国に誇れる魅力ある長門市の創生に、一人でも多くの若者が自らの地域に関心と愛着を持ち、住み続けられるような「長門市」を目指し、子育て支援や少子化対策に積極的に取り組んでいかなければいけないと考える。若い世代の人たちが家族を増やしたいと思えるような子育て環境の改善が必要だと考えるが、それについての課題や施策について尋ねる。	市長 部課長	15:30